



議会だより
No.182
令和3年5月号

令和3年度各会計予算を可決

議会だよりは
こちらからも
Check!



会議録の一覧
はこちらから



5月号の主な内容

- 令和3年度予算の概要…………… 2P
- 一般質問…………… 3P~14P
- 審議結果…………… 15P
- 議会日誌・編集後記…………… 16P

令和3年度 一般会計当初予算

59億8,500万円

前年度当初比2億円(3.2%)の減

令和3年第1回定例会は3月4日に開会し、3月18日に閉会しました。

町から提案があつたのは、条例の制定3件、条例の改正4件、条例の廃止1件、その他議案4件、補正予算11件、令和3年度各会計予算11件を審議し、すべて承認、可決しました。

なお、令和3年度当初予算は、全議員で構成する予算特別委員会に付託されました。

特別委員会は3月6日に正副委員長互選を行い、委員長に永井浩議員、副委員長に金安英照議員を選出しました。

3月16日から18日まで慎重に審査を行い、令和3年度一般会計予算のほか10の特別会計を原案のとおり可決すべきものとなりました。

3月18日の本会議採決では、全会一致で委員会の審査結果のとおり決めています。

また、総務文教常任委員会が提出した「原子力発電環境整備機構が行う文献調査に関する決議」を全会一致で可決したほか、請願1件を請願審査特別委員会へ、また、陳情1件を総務文教常任委員会に付託しました。

令和3年度 会計別予算集計表

(単位：千円、%)

会計名	3年度予算額	2年度予算額	前年比較	前年比
一般会計	5,985,000	6,185,000	△ 200,000	△ 3.2
奨学資金特別会計	2,521	2,521	0	0.0
後志公平委員会特別会計	1,000	1,050	△ 50	△ 4.8
地域振興事業特別会計	49,900	53,180	△ 3,280	△ 6.2
国民健康保険特別会計	253,908	263,824	△ 9,916	△ 3.8
後期高齢者医療特別会計	90,153	82,453	7,700	9.3
介護保険サービス事業特別会計	68,494	66,710	1,784	2.7
簡易水道事業特別会計	155,747	184,832	△ 29,085	△ 15.7
農業集落排水事業特別会計	208,722	204,308	4,414	2.2
温泉旅館幽泉閣事業特別会計	256,700	327,500	△ 70,800	△ 21.6
特産品開発事業特別会計	21,300	25,800	△ 4,500	△ 17.4
特別会計合計	1,108,445	1,212,178	△ 103,733	△ 8.6
総合計	7,093,445	7,397,178	△ 303,733	△ 4.1

令和3年第1回定例会

3月の定例会では9人の議員が12本の一般質問しました(内容を要約してお知らせします)。



一般質問



旧蘭越診療所の跡地について

熊谷 雅幸議員

旧蘭越診療所

の跡地活用について、当初の計画ではグループホームやケアハウス、サービス付き高齢者向け住宅等の建設も予定に入っていると認識していますが、次の2点について伺います。

1点目、上記の施設形態の中では、どのようにしているかと考えられています。

2点目、統合診療所方向から商店街への動線も良い場所にあるため、これらを生かした施設の検討も考えられるのか。

金町長

1点目について、平成

29年11月開催の第4回共生型施設基本構想検討委員会です承をいただいた高齢者共生型住宅の建設に向けて取り組んでいきたいと考えています。時間的経過もありま

すので、再度、町政懇談会等で町民の方々や議会の皆様のご意見等も伺いながら進めてまいります。

利便とともに、商業や福祉等の複合的な機能を有した施設を兼ね合わせることも検討する余地があると思慮しておりますので、そうした意見も広く伺いながら取り進めてまいります。

熊谷議員

以前の話の中では、

高齢者共生型住宅もしくはケアハウスの可能性もあるのではと聞いていますが、介護する方たちの人材不足や人手不足が言われていますので、そのような施設を作るのであれば、早めに介護初任者研修等で資格を持った方等への働きかけをしていただきたい。

金町長

旧蘭越診療所の跡地には、

共生型住宅を中心として考えていきたいとの考えを持っています。ですが、どれだけ希望者がいるのか、共生型施設基本構想策定委員会の再開を含めて、跡地にどのようなものがいいのか議論していきたいと考えています。

熊谷議員

今後、高齢者共生型

住宅を踏まえた中で、複合した建物とするとも考えていかなければならないのではないかと。

検討する中で十分色々な話をしていただきたいと思いますが、これについてはどうでしょうか。

金町長

旧診療所の跡地につ

いては、共生型を中心としながら、福祉や商業などの複合についても検討委員会の中で考えていただき、中心市街地を形成するための事業というものを検討していきたい。

そのためには、中心市街地に住む住民や商店の方々、商工会と十分連携を取りながら、町としてできる部分を進めていきたいと考えています。

熊谷議員

様々な意見を聞いて、

検討してほしいと思いますし、既成概念を取り除いた上で、昔の計画だから今やらなければならぬということではなく、現在にマッチした意見をより良く集約して、施設を作っていたらいいと思います。

金町長

次の世代に残せる、そ

ういうまちづくりを進めるための施設づくりはどうあるべきかを検討していきたいと考えています。



通学路における安全対策について

金安 英照議員 先般、昆布小

学校の通学路に面した住宅に住んでいる方より、大雪で自宅屋根からの雪庇が、通学途中の生徒に落下して大変な事態にならないか心配だという相談をいただきました。

ご自身でも毎朝必ず屋根を確認し、雪庇が張り出していれば切る事を心掛けていますが、仕事先から常に心配されておりました。

相談者の家の向かい側は建物がないため、冬の間だけでも生徒にはそちら側を歩いて貰えればと、通学路の変更をお願いされました。

翌日、教育委員会にお伝えしたところ、早速に次の日の朝の登校時から、冬期間に限り通学路の変更を許可していただき、相談者をはじめ、学校、生徒の保護者等、地域あげて安堵しております。

この柔軟で状況に応じたスピーディーな対応はまさに、安心・安全なまちづくりの象意と感じております。通学路における安全対策

の一つの例として町内の他の学校にも周知願いたいのですが、その点について伺います。

小林教育長

学校への周知については、2月15日に小学校、中学校、高校の校長で構成し、月1度定例で開催している校長会で説明をし、改めて通学路の安全点検を行うよう指示するとともに、今年の冬を教訓として、来シーズン以降早期に対策がとれるよう、危険箇所の把握、対応方法を検討するようお願いしたところです。

また、各学校の教頭が集まる教頭会においても、安全が危惧される箇所については、随時報告をいただくよう指示しており、緊急性を要する箇所については、その都度、関係機関に連絡し可能な範囲で対応しているところです。

今後、関係機関と情報共有し対策を取りながら、子どもたちの安心・安全な通学に努めます。

金安議員

令和2年度の教育行

政執行方針に、暴風雪や地震などの自然災害をはじめとする様々な危険から、子ども達の安全の確保が大変重要になると記されています。

お金をかけなくとも、柔軟さとスピード感で対応してきたことが皆さんの安心に繋がったと感じてなりません。

通学路の安全対策を検討するうえで、交通安全、防犯、防災の3つの観点があり、学校や教育委員会、道路管理者、更には警察、保護者、地域の方の情報と共有が、早期早めの対策を講ずる上で重要かと思えます。

本町の各学校通学路における危険箇所の把握、確認度合い、認識の手段はどのようになっているのか伺います。

小林教育長

通学路の安全確保のために、平成31年3月に、安全な通学路の確保に向け関係機関の連携を図ることを目的として、小樽開発建設部・倶知安開発事務所、小樽建設管理部・蘭越出張所、倶知安警察署、各学校及び役場建設課、住民福祉課により、蘭越町通学路安全推進会議を設置しています。

取り組みとしては、通学路の安

全確保のため、対策必要箇所について、ハード面、ソフト面を含めて具体的な対策メニューの検討を行い、具体的対策に講ずるものができる場合、速やかに実施し、その後検証するものです。

この度のケースもありますし、また、防犯の面からも含め、こちらの会議を開催して、関係機関との連携強化を図り通学路の安全確保対策に努めていきたいと考えています。

金安議員

連携と言いましよすが、横の繋がりが大事なのではないかと思います。

ちょっとしたきっかけで、今度には児童や生徒が、地域への関わりや興味をもつ端緒になるや知れませんが、こちらにつきましても教育活動を益々活性化するようお願いいたします。

小林教育長

議員からの通学路の条件等を会議に示しながら、交通安全対策のみでなく、防犯対策も含め情報の共有、共通した認識が大切だと思いますので、必要であれば合同点検や歩いて通学路を見るなど、対策と確認をしながら進めていきたいと思えます。



既存スポーツ施設のソフト面の充実を図るため、 民間の専門スポーツ指導支援事業の導入について

田村 陽子議員 近年、各自治

体においてスポーツ分野の管理、運営、企画、指導を民間の専門業者に委託し、適切な指導、きめ細かなプログラム提供など、市民の満足度が上がり結果も出ています。

次の2点について伺います。

1点目、子ども達の身体づくりと市民の健康増進の現状と課題をどのように捉えて、教育推進計画の目標を達成するのか、具体的な考えを伺います。

2点目、民間の専門スポーツ指導支援事業の導入についての考えを伺います。

小林教育長 1点目について、関係団体等の協力により、児童生徒のスポーツ活動を推進し、部活動指導員を配置するなど、活動を維持・充実させ、身体づくりに繋がるよう計画を推進する考えです。次に、市民の健康増進についてですが、子どもから高齢者まで交流しながら楽しめる生涯にわたる

スポーツイベントを毎年企画し、健康増進に繋がるよう計画を推進する考えです。

2点目について、現在も専門性を要するものについては、講師の派遣等を依頼し実施していますが、多くの人の関わりと協力をいただきながら、施設の有効活用も含め、幅広く地域に沿ったスポーツイベントの運営企画により計画を推進することとしており、民間委託の導入については、計画上も想定していません。

施設を活かすソフト事業が大切であることは十分認識していますので、今後も、職員の研修や各種団体、地域の協力により事業の充実を図ってまいります。

田村議員 少子化に伴い、スポーツ少年団への加入も少なくなっており、蘭越町の子どもの身体づくりという視点を持たなければならぬと思います。

子どもたちだけではなく大人も

含めて、日々の継続的な積み重ねが身体づくりに繋がると思います。スポーツ少年団に入る子どもたちを増やすことも必要ですし、スポーツをしない子どもたちの身体づくりを、どう底上げしていくか、今までのことをやっているだけでは、広げられないのではないかと懸念です。

色々な課題の中で、職員も努力されているのは承知していますが、スポーツ少年団に加入させたいのに、時間的な課題や経済的な課題などを、町がサポートする上で民間の専門スポーツ指導支援事業を提案しています。

現状、トレーニングルームは、夜間は使えない、体育館の更衣室やシャワー室、サッカー場についても活用されていない状況を、今のままのスタイルでやっても改善できるとは思えません。

小林教育長 教育推進計画は、昨年度色々なニーズや地域からの意見取り入れながら策定したということを考えています。

改善に向けて、職員や各関係団体が、夜遅くに会議で集まったり、休日を撤回してイベントを開催するなど、努力しながら実施してい

ますので、ご理解いただきたい。

田村議員 子どもたちをどう育てるか、それがまちづくりの基本だと教育委員会としても町としてもしっかり持っていたきたい。

小林教育長 子どもたちと住民の健康づくり、スポーツに対してのことを考えていこうという体制の中、地域での繋がりにより、スポーツなり身体づくりをやっていきたいという思いがあります。

田村議員 トレーニングルームについて、現状は平日の夕方までしか使うことができません。

平日の夜や土日しか来られない方がいますので、その人たちにも公平に財産を使っていたらと思うところは、緊急に考えて対応していただきたいと思っています。

小林教育長 コロナの関係もあり、なかなか使えていなかったという状況で、3月1日から平日の日中だけの利用としています。

コロナの状況にもよるので、4月以降すぐに今の状態を変えてやるかと言いますと、体制も組みにくいと思いますが、なるべく市民の方に利用できるように、色々検討はさせていただきたいと思っています。



ワクチン接種の取組について

難波 修二議員

執行方針10ペ

ージで、ワクチン接種が円滑に進むよう専門的知識を有している民間事業者の支援を受け、体制を整備して取り組みますとありますが、想定している業務の内容について伺います。

金町長 本町における全体の業務内容は、接種希望者の申込受付とスケジュール管理、蘭越町保健福祉センターで予定している集団接種の会場運営、接種後のデータ管理と大きく分けて三つの業務となります。そのうち、専門的な知識が必要とされるワクチン接種の前後における電話相談と接種の申込受付がセットとなったコールセンターの設置業務について、シミツクホールディングス株式会社に委託する予定です。

集団接種の会場運営にあたり、ワクチンの種類や接種間隔のチェック機能を有している接種記録システムと連携することで、接種履

しているということを進めています。

難波議員

現状の健康推進課の体制では、人員的にも無理なのではないか、このためのプロジェクトチームを作るといふ体制が必要ではないかなと思っています。

今までに考えていた業務にプラスアルファで、この提携により更に業務が増えるということなのか、

町のデータ管理と、シミックが考



えているデータ管理、更に国が進めるデータ管理と3通りできるということなのか、教えていただきたい。

金町長

体制整備については、健康推進課が中心となりつつ、新型コロナウィルス対策本部を設置して、ワクチン接種に係る横断的な協力体制を取っていきこうということは指示をしていますし、新型コロナワクチンの接種に関しては、担当する専門の主幹を配置したいと考えています。

また、シミツクホールディング

スの持っているシステムと、国との連動は十分可能だと聞いています。

山下健康推進課長

ワクチン接種が始まるにあたり、スケジュール管理から接種の会場、どのように運営するかを想定していましたが、支援を受けることにより、必要な情報も頂けますし、システムに労力を使わなくても済むということで、業務量のかかりの軽減になると思います。

難波議員

国は、6月中には高齢者のワクチンを行き渡らせると言っていますが、延びれば延びるほど、我々の感染予防態勢もずつと伸ばさなければなりません。

町民に対する丁寧な説明は、これからも続けていくべきだと思いますので、ぜひ必要な情報を発信していただきたい。

金町長

町民で入院されている方や特別養護老人ホーム等に入所されている方など、クラスターの発生が危惧される方々に早めに接種をさせたほうがいいのではないかと内部で検討していますので、その検討した情報については、町民に情報提供して対応に取り組んでいきたいと考えています。

しみの減量化と資源化の推進について

難波 修一議員 執行方針29ページで、適正な分別の注意喚起や

処理について述べておりますが、先日町内配布された羊蹄山ろく広域処理連絡協議会のチラシは、展開検査の結果、適正なごみの割合が48%という現状、これは大変衝撃的でした。町ではこれまでも啓発に努められていますが、今回の広域連絡協議会の検査結果に対する認識と今後の対策について伺います。

金町長 協議会がこの3月に作成配布したチラシの内容は、昨年10月に実施した展開検査の分析結果をお知らせしたもので、山麓7町村の平均値を示しています。

本町においても、本年度の適合率は50%と低い水準にありました。その要因は、燃やせるごみではあるものの、資源ごみとして分別されているミックスペーパーなどが4割近く含まれていたことによるもので、適合率を大きく押し

下げた結果となっております。

今後、更なる分別の徹底について、他の自治体の取組も参考としながら、効果的な対策を講じたいと考えています。

難波議員 今回の蘭越町は50%、その多くがミックスペーパーで、分別徹底により適合率は高まることと少し安心しました。

7か町村の平均のデータをみると、生ごみが18%、資源ごみは27%あります。

私の想像ですが、町村によっては、可燃ごみに生ごみや資源ごみを入れても良いところがあり、そういう認識で蘭越の可燃ごみにしても、生ごみや資源ごみ、プラごみを入れても良いとの認識の方が相当いるのではないかと思えます。

分別について、身近に教えてくれる人がいない、町内会に入会していない人が、前に住んでいた所の認識で分別を行うなど、そうい

う方が多いのではと感じており、適切な分別がされるための効果的な対策について検討していく必要があると思えます。

金町長 町では転入者に対してこれまでも、ごみの分別方法という資料を作成し、転入された方にはその都度お渡しをしながら周知をしておりますし、民間賃貸住宅の入居者に対しては、町内会に入っていたきたいと、指導も進めているところでです。

また、ごみステーションの中で非常に分別が悪い所は一定期間収集を保留して、認識してもらおうような方法も取りながら、分別ごみの排出について周知を図っているところとです。

これだけ悪い検査結果が出たわけですから、環境衛生組合や連合会の会議などで、町内会等含めて周知を図ったり、町民の皆さんにごみの分別を理解してもらおう、周知も含めて行なっていくことが必要だと考えていますので、優良町村のごみの出し方等について参考としながら、進めていきたいと考えています。

難波議員 適正なごみの割合が48%というのは、半分以上適正で

はない物が入っているということ、大変なことだと思えます。

これは蘭越町だけの問題ではなく、転入転出が激しい町村、働く人の異動が多い町村ではもっと気をつけていくべきだろうと思えますし、再処理して作った固形燃料が、塩分が多いとか余計な物が混じっているから取引しないとなった時に、このシステムが破綻してしまうのではないかと非常に懸念されますので、ぜひそういう観点からも協議会の中で分別を徹底していくことについて、町長からも働きかけをお願いしたい。

金町長 チラシは協議会として住民に注意喚起をさせるということとで発行をしたものですが、これで効果があるかというところ、なかなか難しい現状はあります。

どのように対策を取っているかということが十分大切なことだと考えていますので、この対策協議会や首長ほかに担当レベルの課長を含めた会議もありますので、どのような工夫をしながらやっていくか、検討していきたいと考えています。



農業後継者の担い手の確保、新規就農者の経営安定及び蘭越米、蘭越ブランドの推進など
「農業の振興とUターン」の政策等について

永井 浩議員 町政推進に当た

っての重点的な取組方針で、農業の振興について述べておりますとおり、蘭越町の基幹産業は農業であり蘭越米の生産にあります。が、次の2点について伺います。

1点目、農業後継者の育成や担い手確保及び生産性を高め、競争力のある農業の実現のための今後の政策とはどのようなものか伺います。

2点目、蘭越ブランドの推進のためのPR・ブランド化の政策の具体的な取組がどのようなものか伺います。

金町長 1点目について、新規就農者・担い手の確保のため、蘭越町新規就農者支援事業を実施し支援するとともに、国の農業次世代人材投資事業により次世代を担う農業者となることを目指し、独立・自営就農する認定新規就農者に対し、サポート体制を整備し支援しているところです。

また、道営農地整備事業による基盤整備を推進するとともに、生産者によるスマート農業研究の取組に対し支援してまいります。

2点目について、米1グランプリへの支援や、らんこし米商標登録の活用をはじめ、各種PR活動に努めるとともに、水稲圃場ケイ酸資材投入への支援、育苗施設での健苗の供給、温湯消毒種籾の供給などを行っているところであり、令和3年度は、テレビ放送の複数番組内で蘭越町の魅力を発信する取組や、YouTubeにより蘭越町の魅力を広く発信していきます。

永井議員 農業従事者の減により、1戸当たりの経営面積が増大している現状にあります。

農家の方から、新規就農者が稲作に取組みたくても、初期投資や設備投資が大きいため、稲作は難しいのではないかと聞いておりますが、独自の制度をつくり、稲作

に参入しやすくすることを考えなければならぬと思えます。

また、将来離農を考える農家への居ぬき研修や農業ヘルパー制度を活用し、農業研修の受けやすさ、農業ヘルパー専用のアパートを作り蘭越町に来やすくするなど、後継者づくりにも取組まなければならぬと思えます。

PRについては、米1グランプリは農業者発想のイベントで効果は大であります。

YouTubeやテレビ出演も効果的かもしれませんが、まずは東京・札幌ふるさと会等、全国にお住いの蘭越町出身者へお願いやPR活動が大切だと思います。

金町長 農家に研修に入っている方がおり、そこで数年研修をしてから、農地を譲ってもらい農業をしたいという実例があり、一つの手法としてこれは良いことだなと思えますし、農業委員会という専門部署もありますので、色々と協議をしながら進めていくことも必要だと考えているところです。

PRの活用として、以前は蘭越出身者の札幌会、東京会というのがありましたが、札幌のふるさと会については、年齢層がある程度

固定となっており、その下の若い層まで浸透していない現状にありますが、地元蘭越を知っていただき協力していただく、その手法を取れないか内部で検討しています。

東京の方においても、大規模な寄付を蘭越のためにしていただいている方もいます。

ふるさとを思う気持ちを大切にしながら、町からもそういう仕掛けをするには十分大切なことだと思っておりますし、我が町の基幹産業は農業であり、そこを残していくために努力していきたいと考えています。

永井議員 稲作にも新規就農者が参入しやすくする、蘭越町独自の基盤と制度を確立しなければならぬし、農地の基盤整備・水利など行政手続きが完了して、農地の取得がしやすいかで農地の運用が変わると思えます。

金町長 農業をやりやすいという体制は、どのように取っていくのがいいのか、そのための体制づくりが十分必要だと考えています。この辺の所は課題として、内部でも重点的に検討しながら、できる部分から進めていきたいですし、米の町蘭越を存続させていきたい。

橋梁の長寿命化計画について



柳谷 要議員 御成橋の補修工

事も最終年となりました。

本年からさらに宝橋などの補修も行うとされていますが、一級河川尻別川の町道橋梁は、町の財政にとっても長期の経常的な負担が伴う事業となりますが、次の2点について伺います。

1点目、宝橋の改修については、道の代行工事として行えないか、政策的に研究出来ないかどうか。

2点目、宝橋を含む名駒市街から道道北尻別蘭越停車場線までの区間は、道道への移管を取り組むべきと考えます。

金町長 1点目については、代行事業制度は、道路法により市町村から要請があった場合は、国等は修繕等の代行を行うことができるかとされていますが、高度な技術が必要とし、または高度の機械力を使用して実施することが適当であると認められるものに限るとされており、宝橋の構造は単純な桁橋

であるため、採択要件には該当しないことを確認しているところですので。

また、政策的に研究できないかについては、国や北海道の担当者へ支援が受けられるよう、要望していきたいと考えています。

2点目について、既存の町道を道道へ認定申請する前提条件として、クリアしなければならない条件が多数あり、道道への昇格は容易ではないと考えているところです。



二つの道道を結ぶ町道名駒市街三和線の道道の昇格については、その重要性あるいは道路の状態を検証した上で、可能性があると判断した場合には、関係機関と協議を進めてみたいと考えています。

柳谷議員 宝橋の場合は、長期

に渡り通行できなくなると、玄米バラ受調製施設や育苗施設、名駒郵便局の利用に不便がある、また、災害や救急出動に支障が出ると思っています。

代行工事と道道への昇格、移管をなせ申し上げるかという点、工期を大幅に短縮する予算措置や仮橋を作ることが可能になるのではないかと思うからです。

補修しなければならぬ橋梁は今後もあるわけですから、町の財政負担考えると、今から手を打っておかないと、遅いくらいだというふうに思いますので、町長の所見を伺いたいと思います。

金町長 議員からあつた要望も含めて、再度、道には確認をしていきたいとは考えていますが、現状としては非常に厳しいと回答を頂いているものですから、国からの交付金や有利な起債を活用し、町民の皆さんにご理解をいただきたい実施したいと考えています。

柳谷議員 大谷地区の栄橋のように、過去に道代行で実施した事業もあるわけですから、政治力と気力を持って対処していただきたいと思います。

金町長 宝橋の事業推進に当た

っては、現状として調査設計が入る段階ですから、そこを道代行でというのは、かなり困難だと認識していますが、これで終わるわけではないことから、内部で関係団体と協議していきたいと考えていますので、ご理解を願いたい。

柳谷議員 道を側面から、町村の自治体がバックアップするような形で、国の予算を一緒に要求していこうなど、そういう新たな仕掛けの考え方で進めていただければと思います。

金町長 国道、道道の維持管理については、後志総合開発期成会や各市町村議長さんも含めた色々な懇談会があり、その中で維持管理は要望はしています。

特に二セコエリアは、今サイクルリングが非常に盛んとなっているなか、道路の除草がかなり遅れており、交通安全上の問題がかなり出てきていますので、国、道を含めて、町村から要請を行っている現状にありますので、今後引き続きながら、各団体も含めて道路の整備について、要請していきたいと考えています。



薬用植物を軸とした

地域活性化の取組について

向山 博議員 執行方針13ページで、薬用植物を通じた地域活性化の取組を推進するとあり、令和3年度予算の概要41ページに研修農場の一部を活用し、薬用植物栽培を軸とした農業振興と地域活性化を目指すとともに、この取組の事業目標では、薬用植物の試験栽培により、栽培管理を生産者へ普及させるとありますが、来年度以降の本格栽培に向け、生産者の発掘や栽培管理等普及のさせ方と、今後のスケジュールを伺います。

金町長 栽培を普及させるためには、薬用植物の販売先の確保、販売価格の算定など、生産者が栽培に取り組むための環境整備が求められています。

現在、産学官連携事業において、ビジネスモデルの構築をシミックホールディングスが担っており、試験栽培の取組と並行し、生産者に対し薬草栽培に関し理解を深めるための取組と民間による事業推

進に向け協議を進めているところです。

夕張ツムラに関しては、現在栽培している品種は、収量・品質等の試験栽培中の品種ですが、出来に関しては良好との評価も夕張ツムラから受けています。

今後、試験に目途がついた時点で、本町での作付けに関し、夕張ツムラにおいて生産者への説明について取り進めるよう、協議をしていきたいと思えます。

栽培試験棟を通じて、本町での適性や生産者の経営安定、所得向上を図る作物の一つとして、引き続き取り組みを推進していきますので、ご理解を願います。

向山議員 経済建設常任委員会
の所管事務調査の報告書を見た限り、町の将来を見据えた有意義な取り組みと評価する一方で、現在は栽培、研究、ほ場管理を町職員で行っており、負担があることを心配されていました。

来年度の作付状況が今年度と同じなのか、どこか違うのか、将来的には農家で分担して入るのか、第3セクターが入って大きくやるのか、また、来年度作付する分を価格付けるとしたら、全体でどのくらいになるのか伺います。

金町長 研究から次の段階では、蘭越の生産者につけてもらい所得を上げる、そのような段階になっていかなければならないと協議をしているところです。

職員の負担についても、来年度から期間限定ですが、研修農場の施設管理人を配置して、維持管理も含め行っていくたいと考えています。

西河農林水産課長 産学官連携事業ですが、高麗人参とシソの栽培を行っており、研修農場のハウスの中で栽培していますが、来年度も同様でハウスのうちの栽培で数量等もほとんど変わらないかたちで進めていきたいと思っております。

夕張ツムラですが、昨年度は6反作付けしており、秋に収穫してすぐに次の品種を同じく6反作付け越冬しまして、今年の秋に収穫予定となっております。

この栽培管理についても、夕張ツムラの職員が適宜、蘭越町に訪れており、また、こちらからも不明な点等を常に連絡をとって適切な管理に努めているところです。

今年度は管理人も置かれる状況ですので、改めて適切な管理に努めていきたいと思っております。

向山議員 まだ試験段階ということで承知しました。

最後に職員の負担だけなんとかさせないように、本当に注意してやっていただきたいと思います。

金町長 職員のことを心配していただいた発言で、私も感謝するところです。

昨年は除草で苦労した部分もあり、民間の方の力も借りながら、さらには、職員の協力を得て除草を行いました。今年度は昨年の反省を含め、維持管理の体制を変えていきたいと考えています。

ある程度、事業の方向性が考えられましたら、議会の皆さんにもお話をさせていただき、次の取組に進めていきたいと考えています。



新型コロナウイルス感染症対応の

情報周知について

田村 陽子議員

執行方針の9

ページに、関係機関からの情報収集や住民に対する速やかな周知を図ると述べられています。情報がの周知や公表の具体的な基準を伺います。

また、ワクチン接種に関して、民間業者からの講演を関係者のみで受けましたが、その翌日に協定が結ばれました。

協定締結までの経緯をお聞かせ下さい。

金町長

1点目について、国や

北海道の現行の取扱いに準じて、感染者ご本人の意向に沿い、また、北海道の指導を受けながら慎重に対応していくこととしています。

ただし、役場庁舎など公共施設関連での感染やクラスターの可能性がある場合は、感染拡大防止のため公表を念頭に対応をとる方針でありますのでご理解を願いたいと思います。

2点目について、シミックホー

ルディングス株式会社が開発した

電子お薬手帳と呼ばれるカードに

ついて、羊蹄山麓町村長会議で、

その有効性について議論をしてお

り、そうした中で今回の市町村が

実施主体となる新型コロナウイルス

スワクチン接種について、準備を

進めなければならぬ状況から、

羊蹄山麓町村長会議で各町村の進

捗状況について、情報共有してい

たところ、シミックホールディン

グス株式会社より支援の申し出が

あり、説明を受けたところです。

田村議員

噂話とか中傷を防ぐ

意味でも、発生に関して今後どの

ように公表していくか、町として

基準を明確にしてもらいたい。

情報を発信するために、公式の

LINEアカウントを使ったほう

が、情報を周知させるとい意味

では有効なことだと思えます。

協定を結ぶことは、こちらまでお知らせの義務はないのかも知れませんが、町民があまり分からないまま、進んでいくことに要らない詮索も入るかと思えます。

どこかのタイミングで、提示できなかつたのかについて伺います。

金町長 町としては、プライバシーを守りながら、感染防止に努めていくべきだと考えています。

公表すべきかどうか、相当慎重な対応でいかないと、個人に色々な部分で影響が出てくると考えていますのでご理解をお願いします。

今回の協定については、広報等でお知らせしたいと思えますし、私に与えられている執行するとい

う権限の中で行わせていただいた、その結果、何か町民に不利益になる部分があつた場合は、私に対して町民が判断をしたいと思いますので、ご理解をお願いいたします。

町からの情報発信については、フェイスブックでお知らせして

ますし、行政協力員やふれあい通信、ホームページでもお知らせすることとは可能と考えています。

田村議員 LINEは全道でも

23の市町村が導入していますし、

地震や通行止め等の情報が、その都度迅速に届くものです。

速やかな情報周知を図るために、直ぐにでも考えなければならぬ方法だと思っています。

金町長 議員がおっしゃっていることは理解できないわけではありませんが、防災拠点の観点からいくと、ふれあい通信が町民に周知をできるものだと思っています。

LINEの有効性については、今後検討させていただきます。

田村議員 皆さんからの声を、私はお伝えしていますので、ぜひ検討していただきたいと思えます。

金町長 LINEの有効性というのは分からないわけではありませんが、いずれ色々な媒体を使つて町民に周知をするということは必要だとは考えています。

現状としては、ふれあい通信を使いながらやっていくのが一番有効ではないかと考えているところですので、ご理解を願いたいと思

います。

商店街をはじめとする地域全体の

賑わいの創出について

田村 陽子議員

蘭越町の顔で

あり入り口である町内商店が元気であることは、町民にとっての活力になるとともに、町外に対しては蘭越町のPRにもなりますので、非常に大切な事であると考えます。

コロナウイルス感染拡大の影響により消費の落ち込みが続く中で、各種支援は引き続き必要ですが、消費者の買い物スタイルの変化やコロナ禍により来店へのブレーキがかかっている中では、根本的な解決には繋がっていないのではないかと考えます。

執行方針の15ページにある、賑わいの創出とは具体的にどのような姿を描いているのか伺います。

金町長

生き生きして活気のある街になるためには、商店や会社など事業者それぞれが経済活動を展開されなければなりません。

それぞれの商工業者が地域密着型のアイデアで販売促進活動を行い、町内のみならず近隣町村か

らの購買力も視野に入れた取組みを目指すことで、地域全体の賑わいの創出が図られると考えているところです。

町としても商工会等と連携して、町の経済振興に取り組んでまいりますので、ご理解を願います。

田村議員

メインストリートが

閑散としているこの状況は、商工会や各商店で対応できる範囲ではなく、町が空き家や空き商店、更地にもなっている部分のまちづくり全体に関わってやることとして捉えるということが必要なのではないかと思えます。

町が物件を取得してそれを活用する考えはないのか伺います。

金町長

中心市街地については、町が取得している場所も含めてどのような展開を図り、計画づくりをするということも必要でないかと思えます。

空き店舗の活用を、町が取得をしながらやりたい人方に貸してい

く、そのような要請や意見があれば、議会のご理解も必要になると思いますが、検討していく必要はあると考えているところです。

中心市街地というものを、国道から道道も含めて、一つのエリアとして、どういう形のまちづくりをしていくのか、それが大切ではないかと考えています。

田村議員

都会では、商店の物

が確実に消費者の所に届くテイクアウトサービスなどがありますが、それは地方では難しいですが、工夫できると思います。

例えば、らんらん号を何か生かせないか、今あるものをどう繋げていくか、どう経済を回すかというところは、アイデア次第だと思います。

金町長

経済を回すということ

は、それぞれ色々な考え方ができるのではないかと考えています。答弁になるかは分かりませんが、イベントはある程度、人が集まります。そのイベントが一過性のものであってはならないのではないかと考えています。

コロナ対策という制限がある中で、町から協力支援に関しては何行っていきたいと考えています

ので、議員からも色々なアイデアがありましたら、担当でも私でも結構ですから、お話をさせていただければと思っています。

田村議員

しっかりとコロナ対策

もして経済を回すという考えになっているのではありませんかと感じます。

町内の商店が、町長がちゃんと見てくれていると感じられないことになるのが、町の活性化にプラスにならないと思います。

金町長

町を代表する執行者と

して、色々な機関、団体に対して話を聞きながら、私は出向いていくこともあれば、支援をする部分もあります。

通常の業務の部分からいくと、私が直接出向いて挨拶をする、そういう場が、コロナ対策の中で、今はできていないんですね。

ですから、側面から今できることをやっていきたいというような主旨で、私は申し上げたつもりです。

コロナで、私が陽性になる危険があるから店に行かないという意味ではないということだけはご理解を願いたいと思います。



もみ殻バイオマスの

利活用について

赤石 勝子議員 もみ殻燃料製

造も2年間行ってきたが、今後は町独自で行うことになるのか、また、昨年、町民に燃料を無料で使用していただいた結果、どのような声があったのか伺います。

もみ殻燃料を使用して2年間、町の施設で試験栽培した野菜等の出荷状況等についても伺います。

金町長 もみ殻燃料製造の今後の取組については、国庫補助による実証事業は、今年度で終了となりますが、もみ殻の燃料製造については継続し、街の茶屋、幽泉閣道の駅等で販売できないか検討していきたいと考えています。

昨年実施したもみ殻燃料の無料配布とアンケート調査については、町内で希望される61戸に30キロ入り袋で約400袋を配布し、アンケートは、32戸から回答があったところです。

利用用途として主なものは、薪の代用が45%、レジャー用が34%

災害用燃料としてが17%でした。

薪などと比較しての使用感、半数以上、56%が使いやすいか、との回答で、今後において購入する意思があるかについては、86%の方が、価格や条件次第で購入すること、価格については、30キロ入り一袋1,500円程度を希望する方が56%を占め、全般的に良い評価をいただいたところです。

2年間の実証事業における野菜等の出荷状況等について、1年目はトマトに特化し、大玉、中玉、ミニの3品種を作付しましたが、日照と地温の低下等により、生産量も少なかったため、試供品として、幽泉閣やヒラフ、ニセコ方面のレストラン・ペンションへ、蘭越ライストマトとして無償提供をし、2年目は、トマトについてはミニと中玉に絞り、市場でのニーズが高いリーフレタスやスパミントなどの葉物野菜の生産を新た

に行いました。

トマトの収穫量が約66キロと前年より伸びましたが、販売量は、約40キロで、販売総額は約3万4千円、リーフレタスについては、出荷数は156玉、販売数が64玉、販売総額は、約7千円でした。

販売先は、幽泉閣、Aマートなどで、町外は、前年と同様のヒラフ、ニセコ方面で、品質的には高評価をいただきましたが、販売額については、出荷時期の12月から2月にかけて、コロナ禍による客足の減少で販売が思うように伸びませんでした。

なお、冬期間の野菜生産については、2年間の実証事業で事業化の結論を出すことは大変難しいと考えていますのでご理解願いたいと思います。

赤石議員 61戸に燃料を配布したとのことですが、普通のストープに使用したものなのか。

金町長 薪の代用として使うということでしたが、燃焼率は非常に高いこと、使用後の灰が融雪剤として十分使えるということでした。

いて、リーフレタスはAマートにも卸されたのか。

金町長 JAようていの生産者の方が中心となってやっていただいたので、Aマートへも置いていただいています。

町としては、農業振興の一つの新しい作物として、徐々に無理をしない形の中で進めていきたい。

赤石議員 この事業の窓口は総務課で行っていますが、農産物の生産販売となったら、農林水産課が担うべきだと思います。

金町長 十分、内部で検討しながら進めて行きたいですし、この事業を次の段階まで進めていく意欲はありますので、ご理解を願いたいと思います。

赤石議員 町長の意欲を聞いて安心しましたし、事業を本格化して続けてもらいたいと思います。

金町長 意欲のある農業者が自分の経営に繋いでいくようなことになればありがたいですし、町としても色々な国の交付制度も活用して支援できるのではないかと考えているところです。

赤石議員 野菜の販売経路につ



子育て支援対策について

淀谷 融議員

執行方針7ページ

で、次代を担う子どもの育成は、重要な責務であり子ども保育の充実と子育て世代への支援に努めますとありますが、次の3点について伺います。

1点目、一般的に乳幼児を抱える若い世代にとっては、収入等が少なく保育料等の負担が重くなっており、経済的負担を軽減するために保護者（住民税課税世帯）へ助成することは考えられないか。

2点目、すでに小学生・中学生を対象に学校給食に要する費用の半額を助成していますが、さらなる充実を図るため、保育園児を抱える保護者へ助成することは、考えられないか。

3点目、多くの子育て支援に関する事業を推進するために「子育て支援基金」を創設してはどうか。

金町長

1点目について、国会で子ども・子育て支援法の一部を改正する法律案に対する付帯決議

を行っており、安定した財源を確保しつつ、保育の必要性のある全ての児童が無償化の対象となるよう検討を行い、所要の措置を講ずるところとしたところです。

このため、今後の国の制度改正の動向を注視しつつ、検討していきたい。

2点目について、国の制度改正の動向を注視しながら、前向きに検討していきたい。

3点目について、基金活用の有効性やふるさと納税の活用など、財源の確保方策等について、幅広く検討していきたい。

淀谷議員

国の制度改正がされるからとの答弁ですが、それを待つのではなく、町単独でその施策をしてはどうか。

給食費についても、小中学生は

金町長になって政策的なものとして掲げたものだと思っており、今度は乳幼児の部分に対しての助成をしてはどうか。

基金については、子育て事業や子育て支援の関係団体、支援をしている団体等に、基金を活用して補助をするような政策を持つてはどうか。

金町長

保育料の0歳から2歳児までの無償化の部分については、国の動向等を見ながら、財源も伴うので検討が必要だと思います。

給食費についても、財源が伴いますので、ふるさと納税や他の基金の活用など、財源を補てんしながらできないか、検討したいと思っています。

基金の創設については、条例化が必要ですので、議員の皆さんのご意見も伺いながら、検討していければと考えているところです。

淀谷議員

子育てに対する施策が薄いのではないかと、もっと充実すべきではないかと感じ、今回このような質問をさせていただきました。

ぜひ、子育てに対する手厚い施策をしていただきたいと思えます。

金町長

議員として子育て支援の充実を図るために、思い切った予算投入しながらやっていくべきだというのは、私も理解するところですが、全体的な予算の配分が

ありますので、今回提案いただいた内容については、内部で検討させていただきます。事業を実施するとしたら、これくらいの財源が必要で、どのように財源を活用していくのかを内部でまとめた中で、議会の皆さんにもお話をし、今後に向けて検討していきたいと考えていますので、ご理解を願いたいと思います。

淀谷議員

前向きな答弁をありがとうございます。

所得制限の条件の部分については、4月から9月分は前年度の所得になり、10月分から当該年度になるので、できれば当該年度から実施できるまでに、検討していただきたいと思っています。

金町長

年度の中で進めていただきたいという、非常にありがたい言葉もありますが、財源的な部分もありますので、給食費も含めて十分検討した中で、考え方がまとまりましたら、議員の皆さんにも方向性を相談して進めていきたいと考えていますが、10月から全行つということは、差し控えさせていただきますので、ご理解を願いたいと思います。

審議結果

主な議案の一部の審議結果をお知らせします。

◆令和3年2月18日
第1回臨時会

不動産の取得について（緑ヶ丘定住促進住宅）

公募型プロポーザルで選定した事業者が設計・建設した定住促進住宅（1棟2戸）を町が取得したものです。

蘭越町定住促進住宅の設置及び管理に関する条例

蘭越町への定住を促進するための定住促進住宅の整備に伴い、住宅の設置及び管理に関する条例を制定したものです。

令和2年度蘭越町一般会計補正予算（第11号）

新型コロナウイルス感染症対策として医薬材料費298万7千円の追加、故障した蘭越保育所の食器洗浄機を新たに購入するため99万円の追加、交流促進セ

ンター雪秩父の加圧給水ポンプ交換修理外151万8千円の追加、シヨベルローダーインジェクター交換修理110万円の追加など、1,115万3千円を追加しました。

◆令和3年3月4日から18までの6日間、第1回定例会を開催しました。

蘭越町定住支援条例

現在の蘭越町定住促進条例は、令和3年3月31日で失効となるため、引き続き定住支援対策の推進に努める必要があることから、新たな定住支援条例を制定するものです。

令和2年度蘭越町一般会計補正予算（第12号）

基金への積立2億5千万円の追加、ふるさとの丘オートキャンプ場造成工事2,997万5千円の追加など、3億4,033万6千円を追加しました。

令和2年度蘭越町一般会計補正予算（第13号）

新型コロナウイルス感染症対策

としてワクチン接種業務委託料400万円、コールセンター業務委託料399万3千円の追加、港低家賃住宅修理195万1千円の追加など、2,543万4千円を追加しました。

令和3年度蘭越町一般会計予算ならびに各特別会計予算

議員全員による予算特別委員会に付託審議し、原案のとおり可決しました。

◆令和3年4月23日
第2回臨時会

令和3年度蘭越町一般会計補正予算（第1号）

新型コロナウイルス感染症対策としてワクチン接種業務委託料1,890万4千円、地域情報通信基盤施設増強のため851万4千円の追加、地域主導型再生可能エネルギー推進事業委託料1,056万9千円の追加など、4,608万9千円を追加しました。

議会からの お知らせ



議会を傍聴しませんか

傍聴を希望される方は、議会開催日に役場3階議会事務局にお越しください。

議会の定例会は3月、6月、9月、12月に開催されます。

臨時会が必要な都度、開催されます。

開催日は町のホームページでお知らせします。

議会だより編集委員

- 委員長 向山 博
- 副委員長 永井 浩
- 委員 田村 陽子
- 委員 金田 英照
- 委員 淀谷 融

議会 日誌

蘭越町議会議員・
議長の動き

2月18日

蘭越町議会運営委員会

蘭越町議会第1回臨時会

蘭越町議会全員協議会

新型コロナウイルス ワクチン接種に関する説明会

2月24日 (倶知安町)

羊蹄山麓町村議会正副議長会定期総会 (富樫議長、熊谷副議長)

2月25日

蘭越町議会運営委員会

2月25日 (黒松内町)

南部後志環境衛生組合議会第1回定例会 (向山議員)

2月26日 (倶知安町)

後志広域連合議会第1回定例会 (富樫議長)

3月4日

羊蹄山ろく消防組合議会議員研修会 (永井議員、金安議員)

3月4日～18日

蘭越町議会第1回定例会及び予算特別委員会

3月9日

例月出納検査 (監査委員)

3月15日

蘭越中学校卒業証書授与式 (富樫議長)

3月19日

昆布小学校卒業式 (難波議員)

3月20日

蘭越小学校卒業式 (富樫議長)

3月21日 (留寿都村)

留寿都村長選挙当選祝 (富樫議長)

3月25日

下半期棚卸調査 (監査委員)

3月26日

蘭越町高齢者学級「蘭寿大学」閉校式 (富樫議長)

保健医療福祉総合調整委員会 (富樫議長)

3月26日 (倶知安町)

後志教育研修センター組合議会第1回定例会 (難波議員)

羊蹄山ろく消防組合議会第1回定例会 (永井議員)

4月1日

新蘭越診療所オープンングセレモニー (富樫議長)

4月6日

昆布小学校入学式 (難波議員)

蘭越小学校入学式 (富樫議長)

4月9日

例月出納検査 (監査委員)

4月13日 (東京都)

北海道横断自動車道「蘭越」倶知安間「計画段階評価着手のお礼」 (富樫議長)

志公会と語る夕べ (富樫議長)

4月16日

総務文教常任委員会

経済建設常任委員会

4月23日

蘭越町議会運営委員会

蘭越町議会第2回臨時会

総務文教常任委員会

経済建設常任委員会

5月10日 (ニセコ町)

後志総合開発期成会定期総会・専門部会・全体会議 (富樫議長)

5月11日

例月出納検査 (監査委員)

5月13日 (倶知安町)

後志総合振興局長に原子力発電環境整備機構が行う文献調査に関する決議を持参提出 (富樫議長、熊谷副議長、難波総務文教常任委員長)

編集後記

今春は全国的に桜が早く、北海道は4月下旬に桜前線が上陸すると予測されています。

昨年は、新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐため、緊急事態宣言が発表されました。

それから1年が経ちましたが、新型コロナウイルスの感染拡大の波が関西や首都圏を中心に続いており、全国に波及してくることを懸念しています。

このコロナ過の中で、白血病で長期療養していた競泳の池江璃花子選手が、東京五輪代表選考会兼競泳日本選手権で優勝し五輪代表に決定、彼女は「自分がすくすくらくてしんどくても、努力は必ず報われると思った。」この言葉に多くの方々は勇気づけられたのではないのでしょうか。

4月から高齢者のワクチン接種が開始され、町においても5月以降から接種が始まります。

私たち一人ひとりが長くコロナ過に負けることなく、感染防止策を全力で取り組んで、1日も早くコロナが収束して普通の日常生活に戻ることを希望します。

議会だより編集委員 淀谷 融